



# ANA SHONAI BLUE Ambassador

## の講義を受けました

# 庄内の魅力発信 架け橋へ

「ずっとお願いしたかったんです。庄内で活躍しているのを知っていましたから」。県立鶴岡中央高校（鶴岡市）の大野みどり教諭は話した。昨年10月、1年生の総合学科「産業社会と人間」の授業に、全日本空輸（ANA）で客室乗務員（CA）を務めつつ、庄内地方に移住して「親善大使」として活躍する「ANA SHONAI BLUE Ambassador（ブルーアンバサダー11B A）」を招いた。

## 舞い降りたCA

ブルーアンバサダー1年



県立鶴岡中央高校の生徒を前に講演する  
Blue Ambassador 1年 大野みどり

で働くために必要なコミュニケーションやマナーなどを生徒に講義した。

BAをよんだ理由を別の教諭はこう話す。「ブログやSNSで庄内の魅力をたくさん発信している。何もないように思える地元の庄内にも、実はこんなにも魅力があるんだ、と教えてくれる貴重な存在なんです」

同校の生徒の多くは卒業後、進学や就職で地元を離れるという。海外や日本各地を飛び回る現役CAが庄内の魅力を語れば、生徒に何らかの気づきを促してくれるのでは



ワイナリー「ピノ・コッリーナ松ケ岡」で、川島旭ゼネラルマネジャー（左）の指導を受けながら、新しいワインの「味づくり」に挑むBAの5人（2022年5月、鶴岡市羽黒町松ケ岡）

ないか。そう期待したのだという。

「地元の魅力に気づかないまま外へ出てしまうと、故郷との関係性が薄れ、帰って来たいとも思わなくなる。それは損失でしょう」

## 授業や商品開発

「住みますCA」とも言えるBAが庄内にやってきたのは2021年10月。コロナ禍による連休・減便で、搭乗機会を失ったCAの救済策の一つだった。メンバーは切江沙也香さん（31）、西紅映さん



BAは酒田市の地域FMで番組を持つ。収録に参加する（左から）坂本里帆さん、西紅映さん、九鬼江美さん（2022年12月、酒田市中町2丁目）

（29）、佐藤菜々子さん（29）、坂本里帆さん（28）、九鬼江美さん（26）の5人。ひと月のうち半分は羽田空港を拠点に国内線のCAとして搭乗。残りの半月は庄内で親善大使を務める。祭りやフェアなどの行事参加にはじまり、地元企業との商品開発、小中学校でのキャリア授業、ふるさと納税のアピール、SNSを駆使した観光スポットや旬の食べ物の紹介、マナー講座、ラジオ番組でのパーソナリティ……。文字どおり引っぱりだこだ。最近では月山を飛び越え、県内の他地域にも活動地域を広げている。

## 新しい化学反応

「航空会社が飛行機を飛ばすだけでなく、地域創生にも取り組んで、CAを地方に移住させる。ANAもすごいことをやるなあ……」と思いきしたね」

そう話すのは、鶴岡市羽黒町松ケ岡にあるワイナリー「ピノ・コッリーナ松ケ岡」のゼネラルマネジャー、川島旭さんだ。

BAとコラボし、オリジナルワインや新酒（ヌーボー）を作ったほか、ワイナリーでの結婚式の企画に関わってもらった。

同ワイナリーにとってのコラボ相手は、これまでデザインや広告会社だった。BAはその道のプロではないが、

「日頃から日本全国、世界各地の今を見ています。その知識や感性、もの見方には大いに参考になった」。

「コロナ禍に苦しむのはワイン業界も同じだ。だけれども、思うように仕事ができない葛藤を抱えている」。

「実際にBAたちと話しているうちに、これまでにない新しい化学反応が起きると確信しましたね」

BAの危機管理や先を見越した細心の接客などにも感心したという。

庄内空港がある酒田市もBAを積極的に活用する。BAの正式発表に先立ち、21年5月にANAからBAプロジェクトの打診を受けると、翌6月には「小中学校でのキャリア授業」「日本海の離島・飛島のPR」「市の観光プロモーション」といった具体的な依頼メニューを打ち返した。BAが住む物件の紹介なども行い、実際に5人全員が市内に居を構えるという成果も得た。

丸山至市長は言う。「1年でも実際に住んでもらえれば街のことがわかるし、『住んでいた』という記憶は残る。世界中を飛び回る彼女たちが何かの機会に『酒田』や『庄内』を紹介してくれるれば」

BAの誕生から1年

「三方良し」の関係を築いている。活動を振り返った。

（鶴岡照都）